



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』
1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』
1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会 卓話 イニシエーション スピーチ「設計のはなしあれこれ」

2月6日第546回例会

当クラブ会員
(株)賢プランズ設計事務所代表取締役社長 福島 賢哉 君

◎先週報告

1月30日第545回例会

卓話 「ロータリーと私」

第2750地区ガバナー・ノミニ

東京町田RC元会長 村野小児科院長 村野 順三 氏

◎会長報告 本日はガバナーノミニ村野順三氏から卓話を頂戴致します。

◎幹事報告

①次週(2月6日)例会後2月定例理事会を開催いたします。

②97年～98年度第2750地区大会登録のお願い

今年度の地区大会は来る3月19日(木)20日(金)の両日新高輪プリンスホテル国際館パミールにおいて開催されます。当クラブは3月20日(金)の例会を地区大会に振替えました。登録申込みは2月6日までに事務局へお願い申し上げます。

◎親睦活動委員会報告(小杉真史副委員長)「ロースター」用資料の提出のお願い

新しいロースターの資料(訂正、加筆)未提出の方、本日メ切日です。事務局へご提出の程よろしくお願ひします。

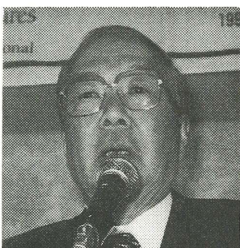
◎社会奉仕委員会報告(清原副委員長)

①去る1月23日(金)例会終了後、武下会長、村山委員と共に、港区の私的福祉施設「風の子会」「みなと工房」「西麻布作業所」を訪問し、忘年家族会でのチャリティバザーの収益金に、社会奉仕委員会費より51,000円を加えて、各々金10万円を寄附して参りました。皆さん大変喜ばれ、会員の皆様によりよくとの事でした。

②書き損じ葉書き、使用済み切手・テレカ等の収集の協力をお願いしておりますが、現在、芳しくない状態です。年賀葉書き等、多数あるかと思ひます。是非例会会場迄お持ち下さい。

◎出席報告 ●会員72名／出席56名・欠席16名

ビジター(5名・敬称略・順不同)／森 浩生(東京)、堀川武夫(紀尾井町)、石黒 康(東京五反田)、原田信市(東京日本橋東)、小野哲男(東京中央)



村野 順三 氏

ニコニコBOX

1月30日／14件 84,000円
97～98年度累計 1,557,432円
多額の寄付を有難うございます。
(順不同、敬称略)

仁木 豊(東京築地RC)／先週(1/23)卓話のお礼(お車代)をニコニコに頂戴致しました。村野順三(ガバナーノミニ)／久方振りに田辺様にお会いできて。田辺賢三・武下 朗・宮武保義／村野ガバナーノミニ今日是有難うございます。馬場一廣／米山奨学生書類選考のお礼をいただきました。柴田陽三／佐々木忠行／水原信太郎／後藤信夫／加藤昌明／谷村義雄／立林英昭／紙面の都合上、コメントを省略させていただきます。田中 武／先週卓話をいただいた仁木先生から今週の週報の原稿を頂きました。感謝です。

2月行事予定

2月は

世界理解月間

です

家族週間(第2週)

ロータリー創立93周年
記念日(23日)

世界理解と平和週間
(2/23～3/1)

3日(火)・火曜会

東京全日本ホテル 37F アストラル 17:30～19:15

・第5回千代田分区幹事連絡会

京橋会館 3F 小舟 18:00～20:00

4日(水)

地区会長会

新高輪プリンスホテル 平安の間 14:30～17:00

6日(金)

2月定例理事会

東京全日空ホテル 1F 孔雀の間 13:40～15:00

12日(木)

千代田分区I.M. [13日当クラブ例会を振替]

帝国ホテル 2F 孔雀の間

フォーラム／14:30～17:50 懇親パーティ／16:00～20:00

ホストクラブ／東京中央RC

13日(金)

地区米山奨学委員長会議

ホテルメリディアンパシフィック東京 1F 連・萬葉 16:00～19:00

17日(火)

地区R財団委員長会議

ホテルメリディアンパシフィック東京 29Fエメラルド 14:00～16:00

20日(金)

夜間例会／レディス・デー

東京全日空ホテル B1 八雲の間 18:00～20:00

卓話「筆跡と人間性」

日本筆跡診断士協会会長 森岡恒舟氏

◎次週予告

2月13日第547回例会

◎97～98年度R.I. 第2750地区千代田分区I.M. に振替

2月12日(木) 帝国ホテル 14:30～17:50／フォーラム 18:00～20:00／懇親パーティ

◎次々週予告

2月20日第548回例会

18:00～20:00

◎夜間例会／レディス・デー
卓話予定 「筆跡と人間性」

日本筆跡診断士協会会長

相藝会書道教育学院院長 森岡 恒舟 氏

回第4回クラブ協議会

(とき)1月30日(金)例会後 13:40~15:00 (ところ)東京全日空ホテル B1 八雲の間
出席者:来賓/村野順三ガバナー・ノミニー 会員/25名

テーマ「村野ガバナー・ノミニーをお迎えしてーロータリー情報・職業分類・国際奉仕・社会奉仕委員会活動と会計」

(1)ロータリー情報委員会関係

委員長 田辺賢三

①RIの情報のクラブ伝達方法

現在クラブが入手する新しい情報の入手方法としては(1)ロータリーワールド(2)ロータリーの友(3)ガバナー月信(4)地区からの来状資料(5)RI来状資料等があるが、ロータリーワールドは広報誌であって、情報源としては昔のRIニュースに及ぶべくもない。従ってクラブはバラバラに伝わってくる情報をかき集めている状態であるから洩れることも充分あり得る。(例、3年前にクラブ細則第1条、クラブ理事役員選挙手続が改訂されたが「友」と「ロータリーワールド」に小さく報道されただけであったからほとんどのクラブは、これを見落とし、2年経ってもまだ承知していないクラブが少なからずあった。)

従ってクラブにとって必要と思われる情報は地区から、体系的にクラブにレターをもって流す(98-情No.1, No.2のように)システムとして頂けないか。

②RI管理方運営の動向について

クラブ細則第8条に掲げられたロータリー情報委員会の任務の一つに、会員にRIの管理運営の動向についての情報を提供する。国連WHO機関との連携などのRIの動きはやはりクラブに解説して頂きたい。地区リーダーシップ・プランについても同じ。

③手続要覧内容の変更箇所について

手続要覧は3年毎に刊行されるが通常旧刊と異っている箇所は、アンダーラインしてあり、それらは規定審議会の制定や決議及びRI理事会決定事項であり、その旨表示してあるが、何ら根拠の表示なく改訂されている箇所がある。これらは、どのようにして改訂がオーソライズされるのか、承知したい。

④新会員教育オリエンテーションとクラブ情報委員長会議について

(イ)RI制定の新会員教育オリエンテーション要領に基き、当クラブではカリキュラムを作製して新会員の教育オリエンテーションを実施しているが、最近、地区においても各クラブ新会員を集めてセミナーを実施された。地区で実施する以上は、クラブで出来ないような内容でなければならぬと思うが果たして、そうであろうか疑問である(しかも費用がかかる)

(ロ)昨年夏、地区主催のクラブ情報委員長会議に出席したが失望した。委員長に講義する以上は多少高度な会議にして貰いたいし、クラブ委員長に意見交換や質問の時間を与えてほしい。

⑤その他

1. 昔、私が入手したアメリカの一地区のガバナーレターは折たたみ一枚4頁だけ、写真がない、正にガバナーズレターであった。また、私の友人がアメリカの或る地方都市の地区大会に行ってみた処「例会に毛の生えたような大会だった」そうである。ガバナー月信や地区大会に限らず年次報告書でも、地区の人頭分担金などについて一度外国の例を知りたいと思っている。

2. 地区役員について

地区役員(役員という言葉は間違いだが)の任命は、今少し厳選してほしい。クラブの会員としては地区役員の言動には一応敬意を払っているが、それにふさわしくない人も少なくない。地区役員は少数精鋭でスモールガバメントであってほしい。

(2)職業分類委員会関係

委員長 荒木昭文

① RIは、1963年の「職業分類の概要」発行を最後に、職業分類の管轄権は持ち続けるが、職業分類の設定はクラブが自主的に考慮すべきものとなりました。

② 当クラブの職業分類表は、創立時のものを90~91年度に大幅に改訂し、更に、91~92年度にそれに英訳を付け現在の「職業分類表(充填・未充填職業分類表)」となってきました。

③ 第2680地区では1975年に地区内の職業を調査して「職業分類対訳表」を作成し、更に、1983年、1987年にそれを抜本的に改正した「職業分類基準表」を作成し、また1997年に「地区推奨職業分類表」に発展させて、地区内外で活用していることです。

また、第2600地区でも1997年に「標準職業分類一覧表」

を発行しております。当2750地区に於いて、地区として「職業分類表」を作成する考えはないのでしょうか。

(3)国際奉仕委員会関係

委員長 関 征春

地区委員会から各クラブの委員会に対し、財団、米山等の寄付額の目標を求められるが、その数字がノルマになりかねない。委員会は勧誘するのではなく情報提供、啓蒙だけにとどめたい。先日アンケートによる意識でも寄付に対しそれほど積極的でない結果がでている。

貧困、飢餓等の問題解決を識字率アップ等の方法論になっているが、今日の飢餓はそれでは解決されないのではない。餓えている子供の脳は正常に生育されないといわれている。また地雷撤去等、話題になっているものにタイムリーに対応できないものなのか。ロータリーの存在のアピールになるが、宣伝してはまずいものなのか。

各基金があるが、なかには資金運営をはかり、評価損も寄付金を取り崩償却している。建前と実際の援助内容とかけ離れているような気がする。寄付金額の規模に対し明確な説明とデータを、全ロータリアンに公表すべきではないか。

青少年交換で日本の受け入れは大都市に集中しているのではない。派遣学生の話聞いてみると、けっこう田舎が多い。学問だけではなく文化交流、人間交流を考えるのならもっと地域を分散できないものなのか。そのコントロール機構は?

(4)社会奉仕委員会関係

委員長 吉田用親

本年度社会奉仕委員会は、前年度行われた千代田区分区I.Mでのパネルディスカッションの討議及びRIの決議23~34の精神を踏まえ「活動の基本方針」を

1. ロータリーにおける第一義的テーマは、ロータリアンの職業倫理の高揚と、職業を通じての社会貢献である点を先ず認識すること。

2. 社会奉仕委員会活動の目的を「委員会活動を通じて、奉仕の感動と喜びを体験し、学習し、奉仕の心を育てること」に置くこととした。

そして、「具体的活動内容」として

①ボランティア関連活動

②地域社会調査委員会の調査内容を踏まえた。地域に密着した社会奉仕活動。

③従来からの継続支援活動についての調査協議。

④地区からの要請による活動

以上の4項目を掲げました。

昨年11月8日(土)港区ボランティアセンター10周年記念イベントに、車イスサポート、ボランティアとして、会員及び家族の13名の参加や、映画のチケット購入協力、12月12日の忘年家族会でのチャリティバザーの開催と収益費の寄付等を行ってきました。

そこで、村野ガバナーノミニーにお聞きしたい点として

①前述の「活動基本方針」についての御感想。

②地区が主導する社会奉仕活動の是非について。

村野ガバナーノミニーの御感想として

①基本方針というより、基本精神として立派なものであり、又、活動内容も都市部ロータリークラブとして特徴があり良いと思います。

②地区は、カウンセラー又は、アドバイザーとしての役割に徹し、クラブの自主性を尊重すべきと考えています。とお言葉がありました。

(5)会計関係

会計 梶内滋男

地区の一般会計は、例年1億円ないし、1億1千万円の規模で運営されています。その約30%は、国際奉仕および青少年奉仕(現在の新世代委員会)のような一クラブでの奉仕活動では十分に機能しえないところに使われていて、誠に頼もしいことだと思います。

また、約40%は、ガバナー事務所費用が占めています。このガバナー事務所費用の構成比は、93~94年度26%、94~95年度30%、95~96年度42%、96~97年度42%と年々増加して来しました。

一方96~97年度のガバナー事務所基金は58百万円となっていて、ここ3年間で45百万円の積み増しがされています。

については、この基金の方向づけについて、具体的なご検討を進められることをお願い申し上げます。

東京新南ロータリークラブ

会長:武下 朗 副会長:山下忠治 幹事:渡部一元

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二朗、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士

(編集担当順)